



Communication

第27期 中間報告書 2023.3.1▶2023.8.31
株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス



Report

株主の皆様へ

上半期の好調な業績を受け、2024年2月期の
通期業績予想及び配当予想を上方修正いたしました。

株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス

代表取締役社長 川井 潤



第27期(2024年2月期)の上半期につきましては、5月に新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が5類に引き下げられたことを受け、経済活動の正常化が進み、国内消費やインバウンド需要の回復により、外食需要は好調に推移いたしました。一方、原材料価格の高騰や人件費の上昇等が見込まれることに加え、人財不足による供給制約もあり、外食業界は引き続き厳しい経営環境が続いております。また、コロナ禍を契機としたリモートワークの浸透やデジタル化の加速等により、変化したお客様のライフスタイルが定着しつつあり、当該環境に合わせた柔軟な対応が求められております。

こうした中、当社グループにおきましては、コロナ禍における変化対応で培った筋肉質なコスト構造を定着させつつ、新たな成長ステージを目指して、ロケーションビジネスからブランドビジネスへの転換を推し進めるべく、「既存店の更なる質の向上」に取り組んでおります。具体的には、当社グループの核となる25のコアブランドにおいて、コンセプトを明確にし、専門性の強化として付加価値の高いメニュー考案に取り組んでいるほか、サービスの更なる質の向上により、お客様満足度の向上と販売価格の適正化に努めております。

加えて、「守り」から「攻め」への転換を図るべく、DX(デジタルトランスフォーメーション)投資のほか、新規出店以外にも積極的な業態変更・改装への投資を再開しております。

また、「人的資本への投資」として、3月に発足させたグループ横断的な「人財プロジェクトチーム」を中心に、社員昇給の拡大やクルーの時給アップの実施、研修制度の充実や働きやすい職場作りのほか、採用活動の多角化にも取り組んでおります。

その結果、売上収益は730億円、営業利益は42億円、親会社

の所有者に帰属する四半期利益は30億円となり、いずれも目標を上回る水準で進捗いたしました。

なお、好調な業績を踏まえ、中間配当につきましては1株当たり0.5円増配し、3.5円とさせていただきます。

足元の状況といたしましては、観光需要喚起策の継続的な実施や、対中国を中心とした水際対策の大幅緩和による訪日外国人の増加等により、経済活動は引き続き緩やかな回復に向かう一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う世界的な資源価格の高騰や為替市場における円安基調の継続、2024年問題に伴う物流制約に加え、少子高齢化に伴う労働人口の減少等により、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような中、当社グループは、コロナ禍における変化対応で培った筋肉質な経営体制を引き続き維持強化するとともに、成長戦略の3本の柱である「アフターコロナを見据えたポートフォリオの見直し」、「グループ連邦経営の更なる進化」、「DX推進による生産性の向上・人財不足への対応」をもとに、サステナブルな利益成長を目指してまいります。

2024年2月期の通期業績予想につきましては、足元の好調な業績を織り込み上方修正した結果、売上収益は1,430億円、営業利益は74億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は50億円を見込んでおります。

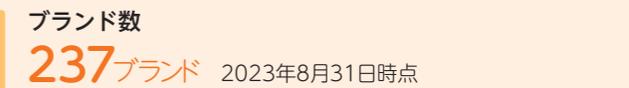
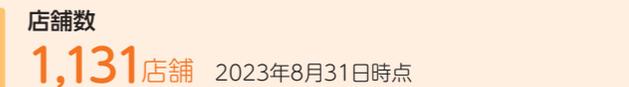
なお、期末配当につきましても、今般の上方修正を踏まえ、中間配当同様1株当たり0.5円増配の3.5円とし、年間配当予想は1株当たり7.0円に修正させていただきます。

株主の皆様におかれましては、健康にご留意いただくとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

上半期の業績について

売上収益については、経済活動の正常化やインバウンド需要の回復等により、前年を大きく上回り好調に推移しました。営業利益についても、筋肉質なコスト構造の定着等により、実質営業利益(営業利益から協力金及び減損損失を除く)は、大幅に改善しました。通期業績予想については、足元の状況を鑑みて、売上収益及び各利益ともに上方修正しました。
※前年は自治体等からの時短協力金43億円あり



第26期中間報告書のアンケートにおいて、多くのご回答をいただき誠にありがとうございました。3,800名を超える株主の皆様より、大変多くのお言葉を頂戴しました。いただいたコメントの一部を、当報告書にてご紹介いたします。

財務の詳細は、当社IRページをご覧ください。
<https://www.createrestaurants.com/ir/>



Topics

中間期の主な取り組み



報告書等を読んでいると、時勢に合わせた事業の展開や新しい取り組みへの姿勢などがよく分かり、さらに応援したくなりました。

20代



アフターコロナに向けて、再成長を期待しています。

30代



よく行くお店のスタッフがいつも感じがよく気持ちよく食事をすることができます。きちんと社員教育をされている会社をこれからも応援しています。

40代



コロナ禍で大変な状況のなか、株主優待の維持ばかりか配当もして頂いてありがとうございます。

40代

再成長期2年目として掲げた3つの取り組み方針をもとに、食を通じて、「豊かさ」を提供し続ける企業グループを目指して成長し続けます。

取り組み① 既存店の更なる質の向上

新店だけでなく、既存店の質をさらに向上させることにより、グループ全体の成長を促進させていきます。具体的には、当社グループの核となる25のコアブランドにおいて、そのコンセプトを明確にし、専門性を強化するほか、サービスの質をさらに向上させることで、お客様に末永く愛される魅力溢れるお店創りを目指しています。



<コアブランド例>

しゃぶ菜、デザート王国、かごの屋、いっちょう、AWKitchen、TANTO TANTO、つけめんTETSU、磯丸水産、サンジェルマンなど

取り組み② 「守り」から「攻め」への転換

「質も、そして量も」に向けた投資を再開しています。具体的には、リピーターの獲得を目的としたデジタルマーケティングや顧客管理システムの導入、スマートフォンで注文できるモバイルオーダーの導入などのDX投資のほか、戦略的な店舗の改装・修繕にも取り組んでいます。また、10月には「わくわく」するような新業態・コンセプトの開発などを行う「クリエイティブラボ」を組織内に新設し、デザイン性をもった新しいコンセプトの創出(わくわくプロジェクト)を進めています。



取り組み③ 人財不足への対応

人財こそが持続的な成長を創出する極めて重要な源泉であると認識し、人財を確保し成長させるため、重点項目に沿った取り組みや投資を積極的に行っています。

重点項目

Motivation

人財が、わくわく仕事に取り組める環境や仕組みを整えます

Diversity&Inclusion

多様な人財の活躍を推進します

Respect

人財一人一人を働く仲間として尊重します

Development

教育・研修を通じ、人財の成長を助けます



SDGsへの取り組みについて、教えてほしいです。

70代

サステナビリティへの取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献し、長期的なグループ企業価値向上を目指します。

Mr.FARMER駒沢オリンピック公園店で、3月11日に防災フェスタ&ファーマーズマーケットを開催しました。

Mr.FARMER駒沢オリンピック公園店は、大規模地震などの災害時に、徒歩帰宅者や地域住民を支援する「防災レストラン」になります。本イベントでは、災害時支援を目的として活動するレスキューキッチンカーの料理を楽しみながら、食育と防災を楽しく学べるスタンラリーや防災バッグ作りのワークショップなどが体験できました。また、全国各地の契約農家の旬のお野菜を販売し、コミュニケーションの輪が広がる場にもなりました。防災レストランとして、もしもの災害時に備えて、今後も準備と発信を行っていく予定です。



採用の強化

採用方法の多角化

- 新卒採用の強化
- 退職者の復職促進
- 外国人採用のルート拡大
- アルバイトの社員登用の促進
- 従業員紹介による採用の強化
- SNSを利用した採用の強化
- 単発バイトの直雇用化の推進

定着率の向上

待遇改善・多様な人財の活躍推進

- 社員昇給の拡大(平均4.1%UP)
- アルバイトの時給アップ
- 譲渡制限付株式報酬の導入
- 人事評価制度の評価項目の拡充
- 社内ポイント制度の導入・活用
- 従業員割引の拡大
- 有給休暇の取得促進
- 永年勤続表彰制度の強化
- 多様な働き方の促進

コミュニケーション

- 人財に特化した社内報の作成・配信
- 地域単位の人財交流
- 店舗従業員の声の傾聴

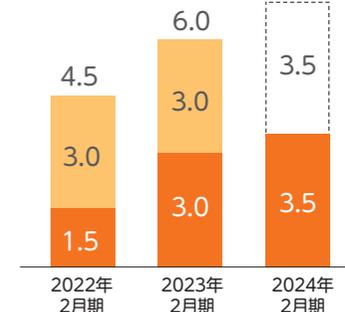
人財育成

- 新入社員のサポート強化
- 階層別研修の充実
- 資格取得支援の拡充

安定的な配当方針のもと、足元の好調な業績を踏まえ、増配を決定しました。

■ 中間配当
■ 期末配当 (円)

いつも応援を賜りまして、ありがとうございます。安定的な配当方針のもと、足元の好調な業績を踏まえ、今期の中間配当は1株当たり0.5円増配し、3.5円に決定しました。期末配当につきましても、通期業績予想の修正を踏まえ、中間配当同様1株あたり0.5円増配の3.5円(年間配当は7.0円)を予定しています。



中間配当 3.5円
期末配当 3.5円を予定



ホームページを見て、ブランドラインナップや株主優待を重視しているところに魅力を感じました。

40代

2023年1月にホームページをリニューアルしました。

株主の皆様が、充実した情報を、より見やすく快適にご利用いただけるホームページを目指し、構成やデザインを一新しました。主要ブランドのブランドサイトの開設や、レストランサーチ上での株主様ご優待券利用可能店舗の検索機能の搭載、サステナビリティに関する方針や取り組みの情報など、様々なコンテンツをご用意していますので、ぜひご覧ください。



<https://www.createrestaurants.com/>

株主優待制度のご案内



当社は重要な株主還元策として、今後も株主優待制度を継続実施!!

当社の株主優待は、全国231ブランド、930店舗でご利用いただけるお食事券を贈呈しており、株主の皆様にご覧のバラエティ豊かな店舗をご利用いただくことが、企業としての持続的成長につながっていくという考えのもと、贈呈させていただいております。

株主優待で、今まで知らなかった新たなお店を知ることができました。
自分も楽しみながら応援しています。

50代



ご利用可能店舗は、ホームページで

クリエイト・レストランツ・ホールディングス 優待

Q 検索

■ 株主優待制度

基準日 ▶ 2月末日 / 8月31日

贈呈時期 ▶ 5月中旬頃 / 11月中旬頃

年2回
お食事券
贈呈

保有株式数	100株以上	2,000円分	年2回
	200株以上	4,000円分	
	400株以上	6,000円分	
	600株以上	8,000円分	
	1,000株以上	10,000円分	
	3,000株以上	16,000円分	
	6,000株以上	24,000円分	
9,000株以上	30,000円分		

■ 継続保有株主優遇制度

基準日 ▶ 2月末日 / 8月31日

贈呈時期 ▶ 5月中旬頃 / 11月中旬頃

対象 ▶ 400株以上を1年以上継続保有の株主様^{※1}

年2回
お食事券
追加贈呈

継続保有株式数 ^{※2}	400株以上	2,000円分	年2回
	3,000株以上	4,000円分	
	6,000株以上	6,000円分	
	9,000株以上	8,000円分	

※1 「400株以上を1年以上継続保有の株主様」とは、株主名簿確定基準日（2月末日及び8月31日）の株主名簿に、400株以上の保有を同一株主番号で連続して3回以上記録又は記載されている株主様といたします。なお、証券会社の貸株サービスを利用するなどして株主番号が変更になった場合や、直近3回の基準日における保有株式数が一度でも400株を下回った場合などは対象外となりますのでご留意ください。詳細は、下記の適用対象例をご参照ください。

※2 「継続保有株式数」とは、継続保有の対象期間において保有株式数に変動があった場合、直近3回の基準日のうち一番少ない保有株式数のことを指します。

※3 継続保有株主優遇制度における追加贈呈分の株主様優待券は、通常分の株主様優待券と同封してお送りいたします。

会社情報 (2023年8月31日現在)

会社概要

商号 株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス
本社 東京都品川区東五反田 5-10-18
創業 1999年5月
資本金 50百万円
従業員数 95名(単体)
事業内容 レストランや居酒屋、フードコート等多様な飲食事業の企画・開発・運営及び経営管理全般

役員一覧

代表取締役会長 後藤 仁史
代表取締役社長 川井 潤
常務取締役 島村 彰
取締役 大内 源太
取締役 大野 仁之
取締役(監査等委員) 森本 裕文
社外取締役(監査等委員) 松岡 一臣
社外取締役(監査等委員) 大塚 美幸
社外取締役(監査等委員) 片山 典之

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 2月末日の翌日から3ヶ月以内
定時株主総会基準日 毎年2月末日
その他必要がある時は、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
配当金受領株主確定日 期末配当金 2月末日
中間配当金 8月31日
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
(連絡先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法 電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

